

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 25 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	地域文化活動育成事業費補助金							
担当課係名	市民会館	課	係	作成者	藤原 眞栄			
総合計画での 位置づけ	施策の大綱				総合計画の ページ			
	基本計画							
	主要施策							
予算費目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事業期間	平成	年度	～	平成	年度	新規/継続の区分		継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス		<input type="checkbox"/> 公共事業		<input type="checkbox"/> 施設維持管理		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等								
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務					
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託)		<input type="checkbox"/> 民間委託(全部)		<input checked="" type="checkbox"/> 補助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内の芸術・文化団体
事業の目的・意図 (どういう状態に したいのか)	非営利団体が市民の芸術・文化向上のために多彩な催しを開催できるよう自治体からの支援をする。
事業の内容 (どのような業務、 活動を行うのか)	再生的支援のため事業に対し補助金を交付する。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	24年度実績	25年度実績	
効果	活動 指標	補助団体数	目標	団体	1	1
			実績	団体	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
	成果 指標	催し開催回数	目標	回	1	1
			実績	回	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
投下 コスト	項 目		総事業費	24年度決算額(千円)	25年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			200,000	200,000	
	人 件 費 (B)		—	25,437	24,858	
	職 員 数		—	3.00	3.00	
	職員平均人件費		—	8,479	8,286	
	(A)+(B) 投下コスト		—	225,437	224,858	
	財源 内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一 般 財 源			225,437	224,858		
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	225,437,000	224,858,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	7,575	7,649	

【事務事業の今までの成果】

平成25年度までは田沢湖音楽祭の開催に補助をしてきている。一度は途切れた田沢湖音楽祭が継続的に開催されるようになっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	補助を受けている団体からは補助を継続してほしい旨の要望がある。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	補助金制度を市民会館で実施していることに違和感があり、他の同種の補助金もあることから制度の見直しが必要と考える。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

「アートプロジェクト」のように同種の補助制度があるため、制度の統合等を検討する必要がある。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	事業補助金が満額活用されているが、公民館と違い借入より鑑賞する場と考えられ、市民が受動的となっているのではないかと。

